

## 私学経営研修会 ＜実施報告(概要)＞

69回目となる本年度当研修会は、6月5日(木)～6日(金)、鳥取県鳥取市・ホテルニューオータニ鳥取において「未来に向けた私学の決断～少子化時代の私学経営を考える～」を研究のねらいに開催し、30都道府県から125名が参加した。

初日の開会式には亀井一賀・鳥取県副知事並びに大野正美・鳥取市経済観光部長が臨席し、平井伸治・鳥取県知事並びに深澤義彦・鳥取市長に代わり祝辞を述べた。その後、長塚篤夫・日本私立中学高等学校連合会常任理事・運営役員及び広石英記・東京電機大学副学長(ゲストスピーカー)による講演、山本敬・株式会社バルコス代表取締役社長による基調講演を実施した。パネル・ディスカッションでは、藤井喜臣・学校法人鳥取家政学園理事長、鈴木弘・学校法人香蘭女学校理事長、梅村光久・学校法人三重高等学校理事長をパネリストに迎え、鈴木康之・水戸女子高等学校理事長・校長がコーディネーターを務め、少子化時代の私学経営について提言がなされた。その後、教育懇談会では、山根茂幸・鳥取県総務部長並びに河井登志夫・鳥取市教育長が臨席し、祝辞を述べた。参加者はリラックスした雰囲気の中、交流を深めた。

参加者同士の交流を促進するため、意見交換会は2日にわたって実施した。「少子化時代の私学経営戦略」、「未来を生き抜く力を育む教育」、「私学の教職員採用と働き方」、「私学の魅力と特色を広める情報発信」の4つの重点テーマについて各校が直面する諸課題について語り合い、経験と課題を共有した。研修プログラムの軸となる2日目午後の学校視察では、生徒・保護者・教師が共に幸せになれる教育を目指し、日々教育活動に取り組む「鳥取城北高等学校」と2014年に鳥取県鳥取市初の中高一貫校として開校し、探究スキルの育成とグローバルマインドの醸成に取り組む「青翔開智中学高等学校」を視察し、少子化時代の私学経営を考察する機会となった。学校視察参加者は92名と70%を超える高い参加率となり、視察校への関心の高さが窺えた。

参加者からは「私学の現状から次代へのアプローチについて示唆の富んだ内容で良かった」(講演)、「独自性の追求・粘り強い行動力はとても参考になった」(基調講演)、「各校の置かれている状況、地域によってそれぞれの課題がここまで違うのかと感じた」(パネル・ディスカッション)、「他校の状況、課題を知ることができて非常に参考になった」(意見交換会)、「選ばれる学校・選んでよかったと思ってもらうために施設充実にも力を入れておられ、大変素晴らしい学校だと感じた」(学校視察・鳥取城北高等学校)、「少人数に対して手厚く教育を行い、探究活動の体系的な指導が精緻に行われていることなどとても参考になり、刺激を受けた」(学校視察・青翔開智中学高等学校)と、各プログラムへ好評が寄せられた。

地元関係者の多大な協力のもと、私学の躍進を目指して企画実施した当研修会は、所期の目的を達成し成功裡に終了した。



開会式



意見交換会



学校視察

○令和8年度私学経営研修会は下記の日程・会場で開催を予定している。

**会 期：令和8年6月18日(木)～19日(金)**

**会 場：ホテルオークラ京都（京都府京都市）**